

ニューズレター No.27

日本リメディアル教育学会(JADE)

<http://www.remedial.jp/> 発行人 穂屋下 茂

2010(平成 22)年 1 月 7 日発行

日本リメディアル教育学会、ニューズレターNo.27をお届けいたします。今回は、

- (1)新年のご挨拶
- (2)関西支部大会開催案内
- (3)臨時総会の開催
- (4)会誌への論文投稿のお願い

についてお知らせいたします。

新年のご挨拶

会長 穂屋下 茂

明けましておめでとうございます。

会長就任のご挨拶が遅れて申し訳ありません。一言、抱負を述べさせていただきます。

近年、多くの大学で学生の基礎学力低下により、大学での専門的な学問の理解が困難な学生が出現して大きな問題となっています。それに対応すべく、日本リメディアル教育学会が2005年3月に、前会長の小野先生をはじめとする有志約100名で発足されたと聞いております。幸か不幸か、本学会の存在はますます重要になってきています。現在、個人会員約460名、賛助会員(大学26、企業40)と大きくなりつつあります。しかしながら、日本リメディアル教育学会の存在が十分に知られているとはいえず、本学会を必要としている大学はもっとあります。そのような大学の教員等に周知して、本学会を利用し、活動していただけるようにするのが今後の重要な課題と思います。

会員が増えますと、それに耐える事務局体制が必要になってきます。私たち現執行部に与えられた大きな課題は、発展する本学会の継続を安定させる体制づくりと心得ております。事務局が東京を離れて九州に移動して、コミュニケーション不足になりはしないかという不安

もありますが、インターネットを活用すれば、密接なコミュニケーションはできると思います。

本学会での発表は活発になり、全国大会も毎年開催され、本年は約80件の講演発表、約300名の参加がありました。また、関西支部会や九州・沖縄支部会でも講演発表があり、会員の交流もますます活発になってきています。専門部会もそれぞれの活動が活発化しようとしております。

本学会は設立されて間もないのですが、金田編集委員長を中心とする編集委員会のご努力により、非常に立派な学会会誌が発行されております。査読も行き届いており、非常に価値ある学会誌になっています。是非、全国大会や支部会で発表されたものを、論文誌に投稿していただきたいと思います。

不慣れなため、ご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、一生懸命尽くしていく所存ですので、会員の皆様のご協力のほど、重ねてよろしくお願い申し上げます。

ファウンダー 小野 博

明けましておめでとうございます。

本年も皆様にとって充実した研究・教育ができる年になればと念じています。

さて、昨年は私の会長退任と、穂屋下新会長、寺田事務局長兼副会長、酒井国際交流委員長、米満事務局長補佐の新任、石田副会長、金田編集委員長の再任があり、学会としては、新たな気持ちでの出発になりました。

ホームページも一新し、事務局体制の充実で今まで以上に皆様に学会の現状についての情報提供ができることを喜んでいます。実際は事務局関係者のご努力に寄るところが多く、担当各位に感謝したいと思います。

さて、本年8月30日、31日には辻堂の湘南工科大学で第6回全国大会が開催されますが、水町準備委員長の元、着々と準備が進んでいます。12月9日の準備会には穂屋下会長と共に参加しましたが、近隣の大学の委員も参加しての充実した準備会がもたれました。大会テーマ「学士力・質保証につながるリメ

ディアル教育の展開」も決まり、シンポジウム、部会企画、特別企画の準備に入っています。

また、今年の前夜祭は日本語部会の協力を得て「授業理解に必要な日本語力と育成方策」と題し、湘南地区で開催します。多くの大学関係者に役立つ勉強会にしたいと考えておりますので、奮ってご参加下さい。

最後になりますが、私の役割は大学会員、企業会員の獲得、大会展示の企業集め等と心得ており、鋭意、努力を重ねていますが、素晴らしい仲間とこのように発展を続ける学会の仕事ができることに喜びを感じています。

今後ともよろしくごお願い申し上げます。

関西支部大会開催案内

平成 21 年 3 月 19 日(金)に摂南大学(大会運営委員長 植松茂男)で開催される第 2 回関西支部大会のご案内をさせていただきます。学年末のお忙しい時期と重なりますが、全国大会に向けて、また各自のご研究のご発表の場として、ご参加いただけますようお願い申し上げます。また今大会では、日本リメディアル教育学会臨時総会も開催されますので、多数ご参加いただけますよう重ねてごお願い申し上げます。

第 2 回大会も、前回は上回る多くの皆様にご参加頂き、実り多い一日となりますようお願いしております。以下の案内を参考にいただき、ご応募ください。今大会では、懇親会(17:00-18:30)を開催いたします。人数を確定する必要があるため、懇親会出席を希望される方は事前申し込み(会費は当日払い 4000 円)をお願いします。3 月 10 日(水)までに大会運営委員長 植松 uematsu@ilc.setsunan.ac.jp まで「JADE 懇親会」とタイトルの上お申し込みください。

大会および発表に関するご質問は、村上 hiromim@kansai.ac.jp までお問い合わせください。

大会日程及び会場

- ・日時:2010 年 3 月 19 日 (金)13:00 開会
- *理事の方は 10:00 に 10 号館 6 階 1065 教室に集合。

・会場:摂南大学 寝屋川キャンパス 10 号館(正門から一番奥の建物)

・アクセス:JR京都駅、新大阪駅、伊丹空港より約 1 時間半。

京阪本線「寝屋川市駅」より西口を出る。京阪バスで約 10 分「摂南大学」下車。

・大学アクセスマップ:

<http://www.setsunan.ac.jp/j/annai/access.html>

・京阪バス時刻表(寝屋川市駅から摂南大学)

http://www.keihanbus.jp/local/timetable.php?stop_cd=7100&no=1

・近隣の宿泊施設:「ホテルニューコマンダー」(寝屋川駅より徒歩約 10 分)

<http://travel.rakuten.co.jp/HOTEL/8304/8304.html>

発表応募要綱(発表時間 20 分、質疑応答 10 分の予定)

1. 応募期間:平成 20 年 2 月 1 日(月) ~ 平成 21 年 3 月 1 日(月)

査読結果を 3 月 5 日(金)にお伝えします。応募者が多数の場合は、プログラム枠が一杯になり次第、締め切らせていただきますのでご容赦ください。また、プログラムの都合により、発表時間が短縮になる可能性があります。

2. 申込み書式

以下の順に記載した WORD ファイルを、申込み先にご提出ください。

- ①発表者(代表者)氏名および所属
- ②発表分野
- ③発表形態
- ④発表タイトル(和文と英文)
- ⑤共同発表者氏名および所属
- ⑥発表時の使用機器
- ⑦共同発表者の氏名と所属を記入。
- ⑧発表要旨は A4 版に 800 字以内で記述(タイトル、発表者(代表)名を記載する)。

3. 申込み先

村上裕美まで(関西外国語大学短期大学部)e-mailにて WORD ファイル添付で送信してください。

hiromim@kansai.ac.jp メール送信時に「JADE 発表申し込み」とご記入ください。

発表応募規定

1. 日本リメディアル教育学会会員で、申込み時点で会費納入が終わっていること。
2. 共同発表者が非会員の場合、代表発表者が日本リメディアル教育学会会員であれば発表は可能。当学会発行の学会誌に投稿する場合、筆頭者が会員であること。
3. 他学会ならびに研究誌などですでに発表した内容は応募できない。

企業展示受付

1. 展示の申込み・お問い合わせは大会運営委員長 植松茂男 (uematsu@ilc.setsunan.ac.jp) までご連絡ください。
2. 会員登録いただいている企業会員様は、1.5 万円で展示いただけます。
3. 会員登録をされていない企業様は、1 社 2 万円で展示いただけます。

臨時総会の開催

関西支部大会の際に、日本リメディアル教育学会臨時総会を開催いたします。

会員の皆さまのご出席をお願いいたします。

詳細につきましては、近日中にお知らせいたします。

会誌への論文投稿のお願い

会誌『リメディアル教育研究』では、リメディアル教育に関する研究、教材や教授法の開発と評価、実践の報告などについての原稿を募集します。

投稿は本会の会員が筆頭者であるものに限り（編集委員会が特に認めた場合は、非会員からの論文等を掲載することもあります）。掲載の採否は、査読審査を経たのち、編集委員会において決定します。原稿料の支払い、掲載料の徴収はいたしません。

詳しくはホームページ

<http://www.remedial.jp/journal.html>

をご覧ください。

【文責】寺田 貢